



モリアオガエルの卵

妙たえ の光ひかり

通刊78号 復刊58号

2007年7月1日(季刊)

角田山妙光寺 発行

〒953-0011

新潟市西蒲区角田浜1056

TEL 0256-77-2025

モリアオガエルの卵

できてまだ三年に満たない三重塔の池。その脇のモミジの木に、モリアオガエルが卵を産んだ。国内で唯一、森林の木の上に暮らす蛙で、池や沼などの水面に張り出した木の枝に産卵する習性がある。そんな自然が少なくなつて数が減り、天然記念物に指定している県が多いという。以前、中庭の木の上にいる小さな蛙を見つけ、モリアオガエルがいることは知っていたが、卵は初めて見た。

直径二十cm程の球形で、白い泡状の形をしたのが四つ。一つの塊に三百から五百の卵があり、一週間でオタマジャクシにふ化して池に流れ落ち、二ヶ月で森に還る。ただその多くは、途中でイモリ等に食べられてしまふらしい。

新しい池で、しかも参道のすぐ脇で人通りも多いのに、山が近いせいか自然に溶け込んでいる境内を実感した。

藻の畳 もりあおがえる 落ちてよし 山口誓子



●おことわり

今回の号は住職の体調の都合で、通常の内容をお休みし、ご報告とご案内を中心に変則的な形でお届けしますこと、ご了承願います。

●役員会議を開催しました

妙光寺は各種事業を含めた全ての活動とその経理まで、定員二十五名の役員会議による審議を経て運営しています。年度当初に定例会議を開催し、ここにご報告とご案内の件を中心の議題として、審議いただきました。

ことに皆さんから戴いている年会費を始めとする全ての収入、住職給与も含めた人件費等一切の支出に関して、会計事務所からの収支決算書をもとに審議されましたことをご報告します。

●前寺の再建が遅れています

これまでにご案内してきた前寺の再建ですが、予定では五月の連休明けに着工で、九月には完成の予定でした。計画の土地に保安林など幾つかの法律上の規制があり、この許可を得るための書類を揃えるのに、予想以上の時間がかかっています。六月末現在で未着工ですが、ようやく見通しがつき現在鋭意進めています。

「いつ完成するの？」という声をよくいただきます。いまましお待ちください。完成後は皆さんの葬儀の会場などとしてもご利用いただけます。

「前寺」というのは通称で、正式には塔頭（たっちゅう）寺院と言い、妙光寺の場合『京住院』という名前です。記録では三七〇年ほど前に最初建てられたようです。これまでであった建物は当時のものではないと思いますが、昭和六十年頃に老朽化で解体しました。

●前寺の仏像修復

前寺には旧本堂の仏像一式（全部で十四体）を納める予定で、その修復費用のご寄付を前回お願いさせていただきました。お蔭様でご案内を差し上げてわずか二日間、全額分のお申し出をいただきました。その後にご連絡いただいた方には、誠に恐縮ながらお断りした次第です。本当にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

●得度式

研修生として修行中の矢部が三月二十一日のお彼岸当日、僧侶となる第一歩の得度式を行いました。ご両親はじめ、多くの檀信徒の皆さんに参列いただき、本人も決意を新たにしています。

その後四月六、七日、住職同伴で千葉県清澄寺での研修と度牒交付式（得度をしたことを宗門が認める式）に参加。また六



得度式

月十一日から五日間、同じく清澄寺での、修業道場に入る前の事前研修に参加しました。秋には講習と試験もあり、その上で来年夏に身延山での修業道場に入る予定です。

これまででは読経、華道、茶道の研修を進め、これから書道と漢文研修が始まります。

・「ご判さま」華やかに 四月三十日

伝統行事の「ご判さま」が、昔からの「この日は雨が降らない」の言い伝えどおり、八重桜満開で快晴のもとに催されました。押すな押すなの参詣者で賑わった昔日の面影はありません



稚児音楽大法要



山門で輿をお迎えしての法要

が、貸し切りバスで参拝した団体も含め、二百人ほどの方々が一日を過ごしました。

曾根・升潟地区の檀徒の皆さんには三年に一度の当日の当番、地元角田浜の檀徒の皆さんには事前ののぼり立てと当日の応援、ありがとうございました。

・参籠修行 四月七・八日

四回目になる「初めての参籠修行」に五人が参加され、一泊二日の厳しい？修行を体験されました。人数が少なめでしたが、その分皆さんがすぐに打ち解けて、和やかで明るい雰囲気の中で終えることが出来ました。

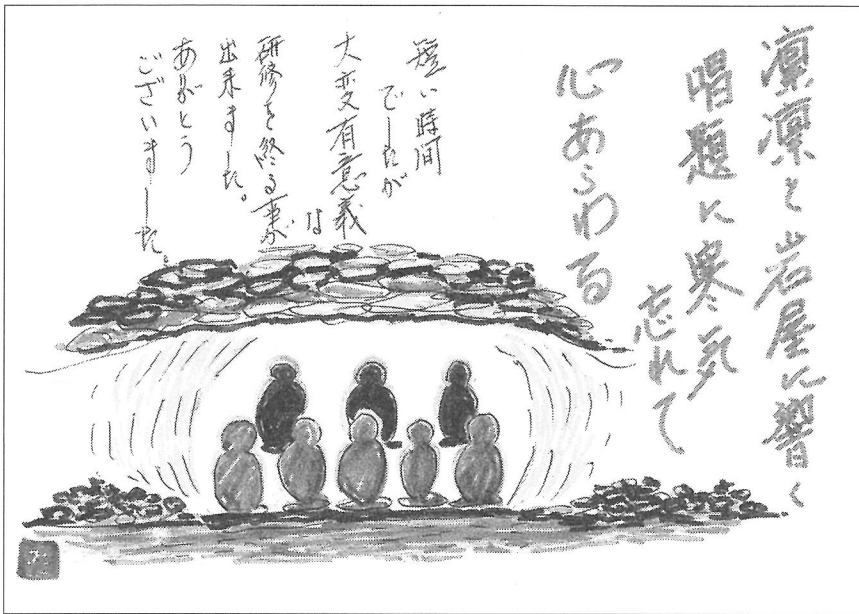


最後に三重塔に写経を納める法要

参加者の感想の一部

「初めての研修で不安でしたが、終了したいまま、もう一日くらい皆さんと一緒に過ごしたい気持ちになっております。写経、唱題を通し少し気持ちが落ち着いていた感じです。お経の練習、写経等非常に良かった。少人数が逆に落ち着いて受講できて良かった。」

「二日間、本当に有意義でした。住職と共にお寺で過ごす機会初めてですし、全て良い勉強になりました。」



終了後に参加のTさんから届いたはがき

・住職の体調不良と鎌田の入院手術

四月に入り住職が体調を崩し、五月には鎌田が目の手術で入院して、ご迷惑をおかけしました。住職は今年の春先から多忙で休めない状態が続いたところに、前寺再建の手続きに追われました。さらにお彼岸直後に出張、講演のあるところに県内外での葬儀が重なり、四月に入り疲労で動けなくなってしまったのです。

医者からは、過労で肉体的にも精神的にも限界だから、しばらく休養するよう言われました。しかし四月末は「ご判さま」行事、連休中は法事で一杯なうえ、連休後から鎌田が一ヶ月の入院のためゆっくり休めない状態でした。合間を縫って休みを取ることで、現在は心配ない状態まで復調しています。

鎌田は「緑内障」という、視野が狭まり失明に至るといふ病気のため、新潟大学病院で手術して一ヶ月間の入院。お蔭様で六月中旬に復帰しました。

さすがに最近深夜の電話はほとんどなくなりましたが、お寺は二十四時間営業に近いものがあります。そのため気が休まることなく、医者からは「営業時間を決めないと身が持ちませんよ」と言われました。この兼ね合いは大きな課題です。

少なくとも住職も職員も無理が効かない年齢になり、定期的な休日を取る体制を考えないといけない事態のようです。今後役員と相談のうえで対応を考えたいと思います。皆様のご理解とご協力をお願いします。

お知らせ・ご案内



・年会費をお願いします

個別に同封か、または地区の世話人が伺いますが、今年度の会費をお願いします。前年度までに未納がある方には、その分を加算してあります。ご不審の点はお問合せ願います。

合併後の住所名変更が完全に出ていません。恐れ入りますが、振替用紙に書き加えてご送金いただけると助かります。また転居等による住所変更も同様にお知らせください。

振替用紙を同封した方で郵便局を利用されず、直接妙光寺に持参されても結構です。その際も必ず振替用紙をお持ちください。いずれの場合でも領収書を翌年の三月までは保管をお願いします。また銀行、コンビニでの送金を希望される声の一部にありますが、手数料が高額で無理なことをご理解ください。

・盆参・施餓鬼法要

妙光寺では八月一日がお盆のお墓参りです。午前六時から十時まで、個々のお墓の前での読経をお受けしています。安穩廟の場合も同様です。七～八名の僧侶が水屋のあたりに待機していますので、直接声を掛けて依頼してください。

十時半から安穩廟法要、十一時から本堂で施餓鬼法要です。

お参りの人たちで賑わう墓地



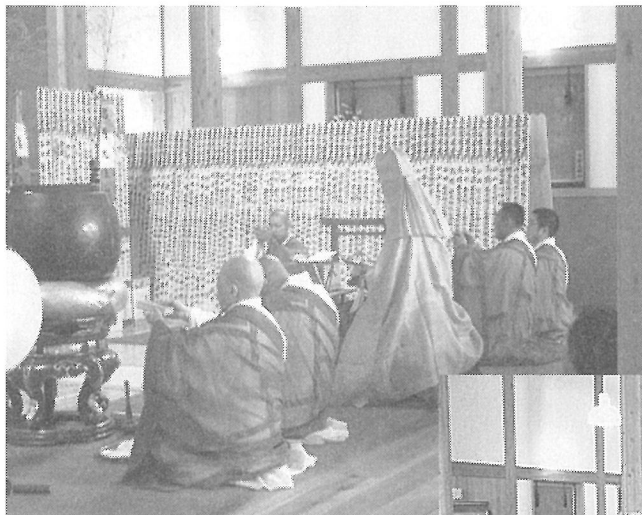
特に新盆の精霊は戒名を書いた位牌を安置し、供養いたします。塔婆供養と縁者の方々でのお参りをお奨めします。

・塔婆供養

塔婆とは、先祖や個人の供養のため、角柱や板に戒名か俗名または先祖代々と書いて立てるものです。お釈迦様の滅後、その徳を偲んで建てた塔（ストウパ）に由来するもので、正式

には卒塔婆（そとうば）とい
います。

妙光寺では六尺（一八〇
センチ）の板形式で、八月
一日の施餓鬼法要中に読み
上げし、そのままお盆が終
わる十六日まで本堂に立て
て置きます。準備の都合上、
七月二十七日までにお申し
込みください。



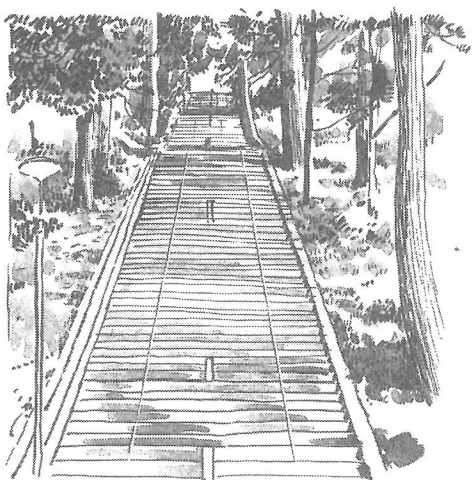
塔婆を並べての
施餓鬼供養



・身延山への団体参拝旅行

前の号でご案内しましたが、
総本山身延山久遠寺
（山梨県）への団体参拝旅行
を募集中です。初めての方、
四十代の方、ご夫婦で等々
の申込がすでにあります。
どなたでもお誘いあわせご
参加ください。

期日・九月一日（日）
十月二日（火）二泊三日



久遠寺山門

費用・七面山登詣

・・・・三万七千円
諸寺参拝・温泉宿泊組

・・・・四万八千円
詳細はお問合せくだ
さい。

●第十八回フェスティバル安穩

別紙でご案内の通り、十八年目を迎えるフェスティバル安穩を、九月一日（土）に開催します。ゲストの日程調整で当初の予定日より一週間遅れました。乾さんの書はとても楽しく、原さんのギター弾き語りはクラシックから演歌までと、決して堅苦しいものではありません。当日不都合な方は事前に一週間の展示があります。ぜひお出かけください。

また今回は交流パーティーを休ませていただくことにしました。いつもパーティーの準備で講演も聞けず、法要にも参列できない裏方スタッフへの配慮と、住職の体調を考慮してのことです。ご了承ください。

例年通り、法要に灯す「大口ウソク」の献灯をぜひお願いします。昨年からは会場で灯す際に、五十音順に並べてお名前が見つけやすいよう工夫しました。



安穩廟での合同法要

去る六月十一日から一週間、NHKラジオが夕方一時間づつ「準備できていますか人生の締めくくり」という特集を放送しました。出演された五人は皆さん妙光寺とご縁のある方で、うち三人の方は今年もフェスティバルに参加されます。

●漢文講座は延期

前の号でご案内しました一般向けの「やさしい漢文講座」ですが、希望者が三名と少なく開催できませんでした。僧侶向けは人が集まったのですが、住職の体調不良で延期しています。秋には始めたいので、一般向けも人数がまとまれば開催しますから、ご希望の方はお申し出下さい。

●生前に戒名を

戒名は本来亡くなってからではなく、生前につけるものです。妙光寺では希望者に、簡単な研修の後で戒名をおつけする式を秋に行っています。これまでの五回で九十名以上の方が受けられました。今年は十一月の予定で、詳細は次回ご案内します。

●「杜の安穩」残り僅か

昨年夏に八十区画増設した増設した「杜の安穩」ですが、全体で残り六十区画を切りました。問合せ、申込は続き、これまでのペースからあと二年弱で満杯になると思われる。さらなる増設は敷地がないことと、対応が困難なこと無理と考えています。

「私は会計ブチョーです。」



小川 なぎさこ

自分の責任において仕事をするということは、厳しいものです。僧侶ではない私も、妙光寺の職員？として会計の仕事を担っています。特に今回のように会費をいただいた後、点検しながら今度はこれを個人別に入力作業をするのですが、このコンピュータへの打ち込みが（どこかで聞いたような話！）とても神経を使います。

細心の注意を払っているつもりでもミスがあつて、お電話をいただいで調べることがあります。各地区の世話人がお預かりする時の記録帳と、個人領収書の控えは過去五年間は保管してあります。また会計事務所も厳しいので調べればはつきりすることなのです。でも昨年は研修生のことやらであわた

だしく、またコンピュータが故障したりして、何件かミスがありました。本当に申しわけありません。許されることではないので、今年の入力はいつそう注意深くやろうと心に誓っています。

もしもご案内の内容がおかしいと思つたらどうぞご連絡ください。また領収書は必ず保管ください。そして、転居などで住所が変わつた場合にはご連絡いただけると幸いです。メール便でお送りしていますが、メール便は郵便局と違って、転居先への転送はされないのです。お手数ですがよろしくお願ひします。

まだ安穩廟を始める前、気心の知れた古いお付き合ひの檀徒さんばかりのときは、「あつ間違えたごめんなさい」

で許されたことが今はそういう時代ではなくなりました。特にお金のことになると後々までしこりが残つてしまうようです。かた苦しいお話になつてしまいました。が、ちょうど年金問題で世間が騒がしいこともありましたので、お話ししました。

六月は檀徒役員会を開き決算報告を行う時期です。妙光寺の会計はすべて開示しています。会計事務所が作る収支算書と貸借対照表をにらみつつ、会議の資料を作っていたら外が明るくなつてきた・なんてこともありますし、貸借対照表の見方についての本を何冊も読みました。OLの経験もないので知らないことはその都度調べたり、聞いたりして努力もしましたが、ようやくおまかせ！くらいにはなつたかしら。と思つています。

お坊さんは三人に増えたのに、会計係とまかない係は相変わらず私一人、責任を押し付ける？相棒もいないので、厳しさに泣けてくることもあります。これが仕事というものなのでしょうね。

行事案内



・七月初旬 関東地区お盆参り

関東地区の檀信徒宅に、日時をご連絡の上で住職がお伺いします。ただし今年は半分のお宅を秋のお彼岸にさせていただきますので、ご了承ください。

・八月一日(水) お盆参り・施餓鬼法要

午前六時〜十時まで、お墓の前でのお経を受け付けします。十時半―安穏廟法要
十一時―本堂で施餓鬼法要と塔婆供養 十二時―お斎 午後一時―お説教

・八月十三日〜十六日 お盆棚経

例年通りに住職と鎌田、お手伝いの成川上人、研修生の矢部が手分けして全ての檀徒宅に伺います。予定を知りたい方、留守になるお宅は八月十日以降に電話ください。旧新潟市内と県内遠方のお宅は、日時をご連絡のうえで十日前後に伺います。

・八月十九日(日) 岩屋七面宮祭礼

午前十時半―本堂にて法要とお加持 その後岩屋に移動して法要。お昼に赤飯の供養があります。

・九月一日(土) フェスティバル安穏

参加自由。詳しくは別紙パンフレットをご覧ください。

・九月二十三日(日) 秋彼岸法要

午前お説教



あ
と
が
き



変則的な形の号で申し訳ございませ
ん。

つくづく年齢的な体力の衰えを痛感
しました。以前は効いた無理ができません
です。でもゆったり過ぎること、気持
ちにもゆとりができることを思い出し
ました。

まだ暫くは無理出来ないようですが、
一時は飲めなかつたお酒も回復してき
たので、つい…。どうぞご心配しないで
ください。休みながらいけば問題ないの
ですから

(小川)